

NAGASAKI

看護連盟だより

2008 新春



目

会長挨拶..... 2

議員挨拶..... 3

次

清水先生への感謝の会..... 4

市長・県議・市議との学習会..... 5

教育者セミナー報告、支部増設案..... 6

施設紹介..... 7

叙勲受章と各受賞者

会員数、編集後記..... 8





初春に寄せて

会長 山口 ミユキ

謹んで初春のよろこびを申しあげます。皆さまお揃いで良い年をお迎えのことと存じます。

昨年は、一方ならぬご協力のもと組織強化に力注しましたが達成できず、無念の日々を過ごしました。以来「これで良いのか」、看護界を前提としたふりかえりを繰返し、看護協会会員53万人、看護連盟会員20万人を有する大組織が、次期に向かって大同団結することである、そのためには看護職者自身の自覚によって、その役割を責任もって行動すること以外にはない、と信じた次第であります。

平成19年度長崎県看護連盟の合言葉は「看護協会政策実現のために」本気・やる気・根気でありました。今年も継続して、健康で明るく前進できるためにその取り組みとして

支部の増設を図る

「ねらい」は、いま会員に必要とする情報を速やかに、かつ正しく伝えることができる。
(現在10支部を18支部とする)

役員一丸となって取り組みます。よって会員ご一同の限りないご協力をよろしく願いする次第であります。

組織力の強化によって、平成20年度看護関係予算概算要求がなされました。

去る8月30日、自由民主党看護問題小委員会で平成20年度国家予算の看護関係予算の概算要求について説明、質疑があり、例年この時期に概算要求額が決定し、財務省が更に精査、12月末の予算案に審査されることは、既にアンフィニウィークリー158号をとおして知るところであります。

平成20年度の看護職員確保対策要求額は、19年度予算と比べ、8.56%アップの90億6900万円、久しぶりの大幅アップの要求であります。この予算がとおれば看護協会の政策実現が近づくこととなります。

個々ではできないことが、組織の強化によって、人々により良質な看護が提供できるよろこびを、じっくりかみしめて前進しようではありませんか。

ご健康で豊かな平成20年に期待して、初春に寄せることばといたします。

水仙の花咲く日

(平成20年元旦)



あけまして おめでとうございます

参議院議員 南野知恵子

昨年中は数多くの御指導、御鞭撻を給わり無事一年を過ごす事が出来ました。骨折の足もどうにか回復し、永田町を走り回れる様になりました。御心配おかけ致しました。

昨年は、清水嘉与子先生の御引退、長年の御指導に感謝すると共に、叙勲の御祝い会で皆様方と喜び合えた事は幸せでした。

今日の永田町における厳しい参議院の状況を一日も早く良好な姿にするため、皆様方のお声を傾聴し、「暮らしに安心、明日に責任」のとれる政策を実行しなければなりません。「福田康夫総裁」のもと、温もりと生きがいを感じる様、「自立と共生」の国づくりに党の一員となって頑張ります。

看護・助産・保健の課題も山積しています。今年は、衆議院1人、参議院1人結束して「ヤルッキャナイ」年であります。子年に当り「宙」「忠」「鏝」と看護職に誇りをもって頑張ります。努力します。よろしく。



衆議院議員 あべ俊子

長崎県看護連盟の皆様、よき新年をお迎えのことと存じます。いつもあたたかいご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年1年を振り返ってみますと、年明けから開会された通常国会では、教育再生のための法律や社会保険庁の改革法、年金時効撤廃法など多くの重要法案が成立しました。秋の臨時国会では、福田康夫新内閣が発足しましたが、参議院選挙後の衆参ねじれ現象から、臨時国会は多くの法案を成立させることができないまま、会期末を迎える事態となったことは非常に残念でなりません。これ以上の政治の停滞を避け、国民の皆さんのための政治が行われるために全力を尽くす所存でございます。

本年も現場主義で、直接皆さまと触れあって多くのお声を聞かせていただき、多くの看護問題の改善・解決に向けて、現場の皆さま方にとって「顔の見える議員、活動の見える議員」を目標に全力で取り組んでまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

清水嘉与子前参議院議員 感謝の会

清水嘉与子先生感謝の会において

こんばんは、久しぶりにミユキ節を聞きなつかしかったです。

保助看法ができて60年、私の看護歴が50年、そのうち行政15年です。

厚生省に入って、日本中の看護師の姿を見てこんなことでもいいのか、看護師が専門職として遇されているか？決してそうではない！働いている人が専門職として誇らしく働いているのか？これではやっぱりだめなんじゃないか？石本先生の活躍されている姿を見て、やっぱり、誰か政治の世界にいなければ！と思ったんです。

看護連盟の人が一生懸命応援してくれて、比例代表1位で当選しました。

「選挙の時、自分たちもたくさんの看護師に応援してもらった。だから、僕たちも看護問題やりますよ」と言う議員さんが増えて、入ってすぐに看護問題（診療報酬や夜勤手当）に取り組みました。“これでいいのかな？”と思う問題もたくさんあると思います。今後も看護の役割、あり方に気付いてもらい、新たな展開を期待して《清水嘉与子のフォトレポート》を自民党議員全員と看護問題に関心のある野党議員全員に配布しました。これも、議員としての仕事と考えました。

期待に添えなかったかもしれませんが、一生懸命に頑張らせていただきました。皆様のおかげで勲章もいただきました。今日、このような会を催して頂き、感謝しております。

議員活動の功績

平成元年、石本茂元環境庁長官の後継者として日本看護協会・連盟の推薦を受けて出馬、自由民主党比例区第一位で当選。

政界入り早々、自由民主党社会部会看護問題小委員長として精力的に活動。“看護職員不足の解決に向けての提言”をまとめ「看護の日」「看護婦等人材確保法」「保健士」等を実現。また国民生活調査会理事として「高齢者社会対策基本法」を議員立法で成立させた。平成12年には環境庁長官として、G8環境大臣会合の議長を務め、コミニケをまとめた。また、「循環型社会形成基本法」を制定し、資源循環型社会への道しるべとした。平成13年12月、「保助看法」の一部を議員立法で改正し、看護職の名称を「師」に統一した。

また、厚生労働委員会においては長年にわたって看護の立場から医療や福祉のあり方に取り組む一方、党環境調査会・地球環境委員長として京都議定書の目標達成に向けて尽力した。とくに平成16年より平成19年議員引退までの間は参議院の調査会長として「少子高齢社会への対応」をテーマに実態を把握し、3年間に及ぶ調査結果を報告した。



清水先生の思い出

私は是真会病院に勤務していました。当時の高原院長は清水先生の大ファンで、嘉与ちゃんといって選挙の時も、そうでない時も、いつも応援していました。病院をあげて清水先生のファンでした。ありがとうございました。

先生 長い間本当にご苦勞様でございました。先生の御功績には心より感謝申し上げます。私も、とうに老人の仲間入りをしておりますが生涯現役で頑張っております。



看護政策実現のために政治を動かす

市長・県議・市議との学習会

県北ブロック

H19 .10 .25(木)

出席：佐世保市長・県議 2名・市議 2名・協会 3名・施設代表者16名他、連盟役員13名

提案：①佐世保市立総合病院・高橋ハツエ看護部長 = 公立病院の立場から見た臨床現場の今 =

②佐世保中央病院・平田俊子看護部長 = 現場の看護師が困っていること =

③訪問看護ステーションかしまえ・吉村津弥子所長 = 在宅看護の立場から =

④長崎県看護協会・宮城由美子県北ブロック長 = 看護職確保定着推進について =

県南ブロック

H19 .11 .12(月)

出席：長崎市長・県議 7名・市議 3名・協会 3名・施設代表者29名他、連盟役員21名

提案：①長崎市立市民病院・伊達木慶子看護部長 = 公的立場の看護の現場から =

②三原台病院・林田英子看護部長 = 医療療養型病床の現状 =

③長崎記念病院・浦瀬妙子看護部長 = ケアミックス病院の急性期病棟の現状 =

④長崎県看護協会・荒木宣代会長 = 看護職確保定着推進について =

黒田成彦県議ホームページより

長崎県看護連盟と意見交換。医療・介護施設の看護業務や労務環境について理解を深め、問題点を共有しました。(平成19年11月12日)

公立病院、私立病院、介護専門施設などそれぞれに従事する看護師皆さんから、パソコンを駆使した説明を頂き、その苛酷ながらに厳しい現実を再認識させられました。ところがその後の山口会長の厳しい個別質問には冷や汗ものでした。なんと来賓一人ひとりにマイクを差し向け、感想を述べよ、という迫ったのです。

最初は市議会議員から、そして県議団も当選回数若いの順番に。しどろもどろの回答には山口会長からの「もっと勉強してくださいね」と厳しい指導が。私は、幸い診療報酬改定の内容と患者と看護師の数が「10 : 1」から「7 : 1」への誘導とその現実の矛盾を情報収集していましたので、それなりに回答させて頂きました。山口会長からは「よく勉強なさっていますね」とお褒めの言葉をギリギリセーフで頂きました。

最後にマイクがまわった田上市長は「裁判所の被告席に座っているみたいです」と冒頭から笑いを誘い、行政の責任者としての冷静な回答がありました。なかなか緊張した意見交換の場でしたが、ある意味、とても勉強になりました。これからもこうした意見交換を各種団体とともに連携しながら行っていくことはとても大事だと感じました。選挙は日頃ですからね。



長崎市、佐世保市ともに、議員さんたちが老人看護の現状や、看護職の実情がよくわかったと理解を示され、今後もこのような学習会を継続し、医療・看護の現場をより良いものにしていきたいと約束されました。また、医療にかかわらない、健康で過ごせる環境作りも同時に推進していきたいとの話もありました。そして、市立病院の副院長を「看護職者」という要望に対して、も前向きに検討すると言う意見も聞くことができました。

教育者セミナーに参加して

長崎市医師会看護専門学校

副島都志子

教育者セミナーは、看護の職能代表を国会に送ることの意味や、看護者が国策に対し発言力を持つことの重要性に看護者が無頓着なのは、学生時代に教育がなされていないためであろうとの観点から、看護大学や専門学校の教員を対象に開かれている。3人の講師からは保助看法の問題点(准看護師制度、給与)看護職国会議員の歴史の変遷、個人的な政治への抵抗感を払拭などが話され、教員の意識改革にはなったであろう。今後は「看護政策」を授業としてどのように展開していくのかというもっと具体的な話題を期待する。



長崎県央看護学校

吉野 千春

看護の問題として、社会的地位の低さ、給料の低さなどがあります。看護師の身分は、法律で定められています。法律が変わらなければ、身分も変わりません。セミナーを受け看護の問題解決と発展に向けて、国政に代表を送り、政治力をもつことが重要であることを改めて理解できました。そして、連盟会員は、一人一人が政治力を持つことなので、看護師が政治に関心を持ち、一人の力を大きな力に変えていくように協力し合うことが大切であると感じました。

また、看護者として主体的に政治に参加すること、社会的な存在としての看護は、どうあるべきかを考えることを、学生に伝えていきたいと思いました。

島原市医師会看護学校

川口 信子

研修を受けて、まず感じたことは看護を良くする為や看護職の待遇改善の為に国会議員として活躍された先輩看護職の方々の存在の大きさです。社会の変化とともに看護職に期待されることも変化しています。看護学生たちが将来、希望をもって働くためには看護の視点で法律の見直しをする必要があります。学生には一人一人が自分のこととして法律や政策に関心を向けよう伝えていきたいと思えます。全国で60万人の看護協会会員の力を合わせれば看護職の代表者を国会に送ることができるのではないかと思います。



長崎県看護連盟支部増設案

目的

- ・支部単位を小さくすることによって“ベッドサイドから政治を変える”の施策を一人一人の会員が理解できる。
- ・看護連盟の理解を深める。

看護連盟なくしては
看護協会の政策実現は
できません！！
協会も連盟も
一緒に頑張ってください！！



増設数案

	現在支部数	提案支部数
県南地区	4	9
県央地区	3	5
県北地区	2	2
離島地区	1	2
計	10	18



施・設・紹・介



医療法人白十字会
耀光リハビリテーション病院

明けましておめでとうございます。平成20年も宜しくお願いいたします。

私たちの施設の連盟会員数は98名で、県北地区の中では5番目に会員数の多い施設となります。回復期リハビリテーション病棟（施設の規模は国内で7番目に大きい）を中心とした病院ですので、地域連携を特に重要視しております。地域の皆様に回復期リハビリ病棟をもっと知っていただき、1日も早く家庭や社会復帰をしていただきたいと職員全員技術の向上に取り組んでいます。連盟活動はまだまだ十分とはいえませんが、連盟の必要性は理解しています。特に療養病床に対する施設基準での看護師人数は少なく十分なケアができない現状です。一番困るのは患者様なので、看護師の私たちが「ベッドサイドから声を出して政治へ届けよう」を合言葉に、今後も会員みんなで連盟活動をおこなっていきます。現在は医療機能評価を3月に更新予定ですので、その準備で超多忙です。佐世保にお寄りの際は是非私たちの施設を見てください。お待ちしております!!

看護部次長、地域医療連携室担当

福島美津子（県北地区第2支部幹事長）



公立新小浜病院

連盟会員みなさまこんにちは

公立新小浜病院を紹介します。当院は、山と海に囲まれた、自然豊かな環境にあります。病棟からは、橘湾を一望することができ、特に夕日の美しさは、言葉に言い表せないほどで、疲れを癒してくれます。

院内では、小浜の豊富な源泉かけ流し温泉の施設もあり、患者様にも大変喜ばれております。

外来は診療科9科あり、病棟は、急性期2病棟で90床、回復期リハビリ病棟60床計150床となっております。救急告示病院で、昼夜に渡って救急車の搬入もあり、地域の救急医療もなっています。

看護部は馬場美代子看護部長を中心に「心をこめて、患者様とともに、親切で、笑顔にあふれる対応」の理念のもと、がんばっています。若い人が多く、委員会活動も活発におこなわれ、日々自己研鑽につとめています。

連盟活動も全員が会員でありまして、先の選挙も前任の砂川看護部長を中心に、我が組織の代表を国会に送らなければの一心で、全員が丸となってがんばりました。今回は残念な結果でしたが、この意気込みは、今後の活動に生かせると信じています。

今後も、この公立新小浜病院が、地域に選ばれる、地域に密着した、質の高い病院になるように、努力していきます。次回の選挙では我が代表が高得票で国会におくれるように、お互いがんばってまいりましょう。会員の皆様の活躍を期待いたします。

（文責 森 良子）



医療法人 光晴会病院
長崎市葉山1丁目12番3号
<http://www.kouseikai.org/>

光晴会病院は長崎市北部地区・その周辺地域を医療圏とし、急性期医療を担っている病院です。昭和54年、光り晴れる永遠の発展を願って「光晴会病院」と名付けられ開設されました。ちなみに名付け親は三輪明宏さんです。昨年2月に念願であった病院機能評価 Ver 5を受審し認定病院となりました。当院は、

医療の原点に立った心温まる医療 Humanism
高度医療の提供 High Level

職員一同連携し仕事を通じての人間の成長 High Growth
を病院理念としています。また職員全員が一致して温かい心で医療を取り巻き協力し合う姿を形にしたものが病院のシンボルマークとされています。

看護職員は186名ですが、看護師不足が早期に解決される事を願いつつ、患者さまはじめ地域住民の方々に信頼される病院を目指しているところです。

現在、当院の連盟会員は160名、県南地区では第4支部に属していますが、次年度より第7支部へ変更される予定です。第7支部の虹ヶ丘病院・小江原病院の方々、よろしくお祈りします！

叙勲受章ならびに各受賞者の皆様

叙勲瑞宝双光章	藤 和枝 様
〃	古川シズ子 様
叙勲瑞宝単光章	野口シゲコ 様
〃	廣瀬 弘子 様
日本看護協会名誉会員証	加藤奈智子 様
日本看護協会会長表彰	大浦 靖子 様
厚生労働大臣表彰	高山みつぎ 様
長崎県知事表彰	小川由美子 様



会 員 数 H .19 .12月現在
4,984名 (協会会員比58.7%)

連盟会員大募集!!

組織人として活動しましょう
 友人、知人の Ns .に呼びかけてください。
 苦勞をグチで終らせないで
 政治で解決しましょう!

お 知 ら せ

新|入|会|者|研|修|会

と き : 平成20年 2 月 9 日(土)
 13 : 30 ~ 16 : 00
 と ころ : ながさき看護センター

連盟ってなーに? なぜ連盟?
 参加して「?」をなくしましょう。

今年もよろしくでチュー



編 集 後 記

あけましておめでとうございます。
 今年も広報委員 5 人でトピックス
 を求めて勢一ぱい頑張るつもりです。
 皆様、多くのニュースをホームページに送って下さい。

<http://kangorenmei-nagasaki.jp/>

